

リリースノート - Ki Pro Rack v6.5

Firmware update for Ki Pro Rack

全般

このファームウェアアップデートは、Ki Pro Rack の機能改善と機能拡張を含みます。

機能と設定、および更新についてはクイックスタートガイドとインストレーション&オペレーションユーザーガイドを参照してください。(これらのドキュメントは、www.aja.com で入手することができます)

機能拡張と改善点

- ・ オーディオチャンネルの選択で、2 チャンネルと 8 チャンネルのオプションに加えて、4 チャンネルのオプションが追加されました。
- ・ Ki Pro Rack と Ki Pro Ultra でギャングコントロールがサポートされ、Ki Pro デバイスを連携してコントロールできます。
- ・ Web UI で制御可能なすべての AJA 製品を、Web UI 右側のディスカバリウィンドウに表示できるように更新されました。
- ・ DNxHD フォーマットの名前が次のように変更されました。
 - ・ DNx HQX/220x
 - ・ DNx SQ/145
 - ・ DNx LB/36

使用上の注意点

- ・ファームウェアのアップデートを行う前に、CONFIG メニューで工場出荷状態にリセットすることをお勧めします。
- ・ファームウェアのアップデートを行った場合、Web ブラウザと Ki Pro Rack との接続は解除されます。再接続を行うには、ウェブブラウザのページをリロードしてください。
- ・Ki Pro Rack で収録したクリップを Final Cut Pro 7 に読み込んだ場合、「最適化されていない」旨のダイアログが表示される場合がありますが、これらのクリップは問題なく Final Cut Pro 7 で使用できます。
- ・Ki Pro Rack で収録中にファームウェアのアップデートを行わないでください。アップデートを実行する前には Ki Pro Rack が停止状態にあることを確認してください。